

## キリスト教徒が世界で最も迫害される宗教集団——報告

調査の結果、クリスチャンが一部の国で、民族抹殺のレベルにあることが判明

【訳者注】歴史はめぐりめぐって、加害者が被害者になり、被害者が加害者になることを、思い出させる話である。先日のスリランカでの、キリスト教徒大量虐殺については、英外相ジェレミー・ハントの言う通り、最も深い所で、「ポリティカル・コレクトネス」が働いているのではないだろうか？ これは、日本を含めた西側各国政府の従う、目に見えない権力者のご意向のことである。わが国は、メディアが唯物論に徹することによって、このご意向に従っている。キリスト教徒は、歴史的に、イスラム教徒やユダヤ教徒を苦しめてきたのだから、復讐されて当然という正義感=「正しさ」に、彼らの宗教であるサタン教（これも復讐の宗教）に逆らう宗教、特にキリスト教は許さないという、彼らのアジェンダが結びついている。アメリカでもヨーロッパでも、どんどんイスラム教徒を入れて、不和と混乱を作り出そうとする彼らの政策はそれである。

これによってこの世界には、善と悪、神とサタンの対立しかなく、その中間に超然と、科学的中立などというものがないことわかる。無神論・唯物論は、サタン側に与するより仕方がない。ということは、宗教間の対立など本来存在しないということ、そして本来の宗教と、組織化された、相争う宗教とは別のものであり、前の記事にあった、故レーガン大統領の言った、「我々は地球内部で争っているが、もし地球外部から攻撃を受けたとしたら、そんなものは吹っ飛んでしまう」という警告が、今、現実的なものであることがわかる。神に立ち向かうサタンは必要悪であった。

Jay Greenberg, [www.neonnettle.com](http://www.neonnettle.com)

May 4, 2019



ある新しい報告によると、キリスト教徒が世界で最も迫害されている宗教集団である

クリスチャンが世界で最も迫害されている宗教集団であることが、新しいイギリスの中間報告で分かった。

最近公表された、トルーローの英国国教会主教 Philip Mounstephen による調査結果によると、キリスト教徒の迫害が、世界のいくつかの場所で、民族抹殺のレベルに迫っていることがわかった。

「証拠が示すところでは、反キリスト教の迫害が地理的に広がっているだけでなく、その苛酷さがますます増強している」と、この主教は書いた。

<https://christianpersecutionreview.org.uk/interim-report/>

「いくつかの地域では、迫害のレベルと性質は、国連の基準で、明らかにジェノサイドの国際的な定義に近づきつつある。」

マウントスティーヴンは、「迫害されている宗教信仰者の 80 パーセントは、クリスチャンだ」と推定した。



The Blaze 誌によると、この調査結果は、スリランカの、イースター・サンデーの、ホテルや教会における攻撃で、359 人が殺され、500 人以上が重軽傷を負った後のものだ。

<https://www.theblaze.com/news/christians-most-widely-persecuted-religious-group-in-the-world-report-says>

イギリスの外相 Jeremy Hunt は、この報告を昨 12 月に命じている。

調査の完全報告は 6 月に予定されている。

ヨーロッパとユーラシアの状況は、まだ分析されていないと、マウントステューヴンは書いている。

## 詳細はどういうものか？

その調査結果では、世界中で 3 人に 1 人が、彼らの信仰のために迫害されており、キリスト教徒が、最も被害を受けていると推定されている。

「異なった NGO の報告に基づく、信仰のために迫害される人々の正確な数を、知ることはできないが、世界の人口の 3 分の 1 は、何らかの形の宗教迫害で苦しんでいて、キリスト教徒は最も迫害されているグループだ」と、報告は述べている。

中東のいくつかの領域で、キリスト教は最近、劇的に衰退しており、この宗教は完全に消滅する危険がある、と主教は警告している。

クリスチャンに対するこのような民族抹殺の主たる結果は、大規模脱出である。キリスト教は今、そのルーツの最も根源に当たる、中東の数か所において、一掃される可能性に直面している。

パレスチナにおいて、クリスチャンの数は全体の 1.5 パーセント以下である。シリアではクリスチャン人口は、2011 年の 170 万から、45 万に下落し、イラクのクリスチャン数は、2003 年前の 150 万人から、今日の 12 万人以下に激減している。

キリスト教徒は消滅の危機にあり、それはこの地域のその人口の、膨大な後退に現れている。



英外相ジェレミー・ハントは、キリスト教の迫害の原因は、“ポリティカル・コレクトネス”にあるだろうと言っている

## キリスト教への差別は何が原因か？

ハントは BBC ニュース に対して、諸政府間の“ポリティカル・コレクトネス”の雰囲気、問題の一端となっているだろうと話した。 <https://www.bbc.com/news/uk-48146305>

「この“ポリティカル・コレクトネス”の雰囲気の中で、我々が忘れていることは、迫害されつつあるキリスト教徒は、現実には、この地球上で最も貧しい人々であることだ」と、彼はこのニュース局に語った。

「我々は、問題のありどころを間違えていると思う。宗教について問題を起こしたのは植民地主義者であり、宗教問題に責任があるのは植民地主義者の政府であって、我々が植民者として入り込んだ相手の国々ではない」と、彼はつけ加えた。

## 他に何があるか？

英国ユダヤ人委員会議長の Marie van der Zyl は、BBC に対し、ユダヤ人は、迫害されるキリスト教徒に感情移入することができると話した。

「それが権威主義の政治体制だろうと、宗教というニセの衣を着た頑迷だろうと、今日、報告されているような事態は、我々ユダヤ人に、キリスト教徒が直面する、恐ろしいレベルの暴力、虐待、いじめなど、多くの場面があることを想像させる」と、彼女は語った。

——以上